

山 行 報 告 書

山 域・山 名： 筑波山 (877m) (茨城県つくば市)

入山日：令和元年 11 月 16 日 (土) 日帰り 晴 小春日和 メンバー・報告者：岩田



左回りに①自然研究路の黄葉
②筑波山ロープウェイのすれ違
③御幸ヶ原より男体山



【電車】 7:12 流山おおたかの森⇒7:45 つくば【バス】 7:50 臨時バス⇒8:25 筑波山神社入口

8:40 筑波山神社入口 230m→8:50 筑波山神社 258m→9:02 分岐 348m→10:15 分岐・弁慶茶屋跡 738m→11:20 女体山 877m→11:55~12:25 御幸ヶ原で昼食 803m→自然研究路周回→13:24 男体山 871m→13:45~14:00 御幸ヶ原に戻る→15:20 筑波山神社 258m→15:30 筑波山神社入口バス停 230m **行動時間：6 時間 50 分**

【バス】 15:38 筑波山神社入口⇒16:15 つくば【電車】 16:20⇒16:50 流山おおたかの森



感想： つくばもみじ祭りの開催でつくば駅からのバスは混んでいたが、臨時バスが出てスムーズに行くことができた。筑波山神社で参拝後、白雲橋コースに行く。パワースポットの奇岩巨石が現れ、その伝説など興味深く楽しいコースだ。家族連れや 10 人ほど赤帽の園児の遠足など和やかな雰囲気の中、女体山山頂直下はちょっとした行列で約 10 分並んで山頂に立った。風も無く小春日和で遠方は霞がかかり霞ヶ浦は確認できなかった。

少し下り御幸ヶ原で昼食後、自然研究路を周回した。こちらは登山者が少なく静かで、赤黄に色づいた紅葉に陽が射しきれいだ。最後に男体山で眺望を楽しみ、御幸ヶ原コースを、途中男女川(みなのがわ)源流を横切り一気に下山した。御幸ヶ原の広場では筑波山名物ガマの油売りの口上を演じていた。

晩秋のもみじを楽しみながらのんびりとした山行であった。「西の富士、東の筑波」と並び称され、紫峰筑波山帰りの TX 車窓で見た夕陽にシルエットで浮かぶ富士山が印象的であった。

フォトギャラリーは“[山の記録・MountainView](#)”をクリックしてください。 以上